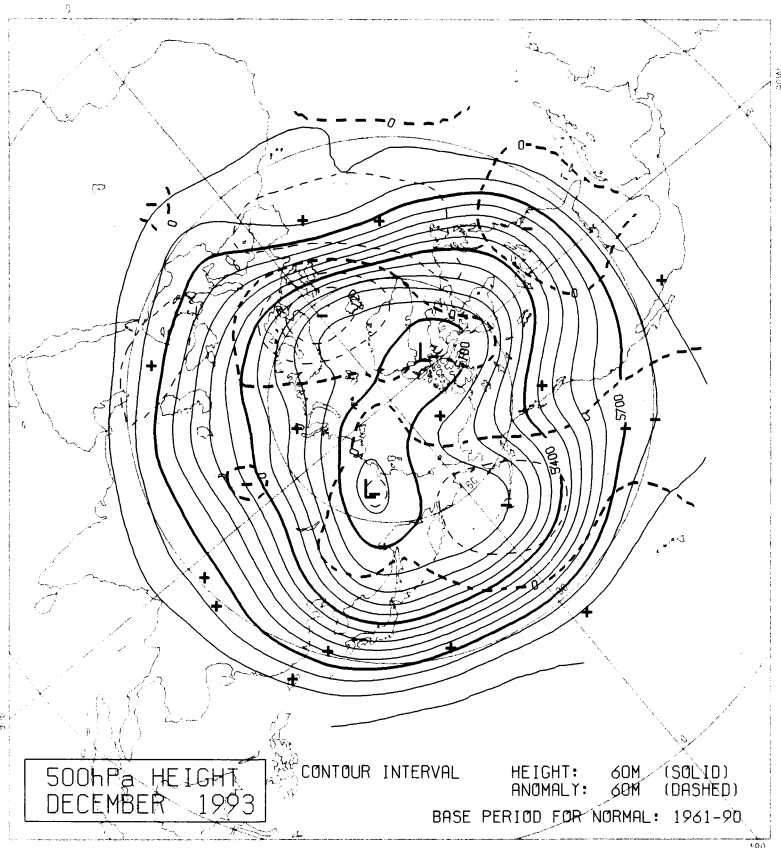


1993年12月の大気大循環と世界の天候 月平均 500 hPa 天気図



(破線は平年からの偏差. 単位m)

表 1 1993年12月の気候表

地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級	地点名	気温 °C	偏差 °C	DT/SD	降水量 mm	比率 %	降水 階級
パリ	7.1	2.8	1.5	103	204	—	カサブランカ	13.3	0.4	0.4	17	16	1
ベルリン	—	—	—	—	—	—	ニオロドサヘル	22.8	-0.3	-0.2	0	0	1
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	22.5	1.2	1.2	110	99	3
イスタンブール	9.2	1.1	0.7	77	67	1	バンクーバー	4.5	0.6	0.4	162	89	3
モスクワ	-3.6	2.4	0.7	81	174	—	ニューオーリンズ	11.2	-1.6	-0.8	74	55	1
オデッサ	2.8	1.4	0.7	23	55	2	セントルイス	2.9	1.6	0.7	38	67	2
ニューデリー	15.3	-0.4	-0.4	0	0	3	サンフランシスコ	10.1	0.5	0.4	56	62	2
カルカッタ	21.1	0.5	0.6	0	0	4	ニューヨーク	3.2	0.9	0.4	113	127	4
ボンベイ	27.0	0.8	1.1	0	0	4	マナウス	26.7	-0.1	-0.1	251	117	4
ホンコン	16.8	-0.8	-0.6	11	43	4	サンパウロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	-12.2	0.5	0.2	7	159	5	ロサリオ	22.5	0.1	0.1	134	132	4
ベキン	-0.8	1.6	0.9	0	0	0	ホノルル	23.9	0.7	1.2	71	79	—
シャンハイ	5.9	—	—	25	—	3	タヒチ	—	—	—	—	—	—
バンコク	25.6	-0.4	-0.3	0	0	—	ダーウィン	28.7	-0.3	-0.5	469	189	6
マニラ	25.8	0.1	0.2	—	—	—	キャンベラ	18.5	0.2	0.2	23	41	2

12月の世界の天候

北半球の月平均 500 hPa 天気図では、昨年冬までよくみられた高緯度で負偏差、中緯度は広く正偏差におおわれる分布が今月はめだたず、極渦はほぼ平年並の状態だった。負偏差域は、ヨーロッパ北西部から北大西洋にかけてと、北太平洋からシベリア北東部にかけて広がった。下旬には北東太平洋で負偏差、北アメリカ西部で正偏差、北アメリカ東部で負偏差となる。いわゆる PNA パターンの波列が現われ、北アメリカ東部に寒波がおそった。

①シベリア東部の低温

月平均 500 hPa 天気図の負偏差域におおわれたシベリア東部では、月平均気温が平年より 10°C 以上も低くなり低温だった。

②シベリア中部の多雨

シベリア中部では前月に続いて多雨となった。

③中国東部からインドシナ半島の少雨

中国では全体に平年以下の降水量で、東北部ではほとんど降水がなく、インドシナ半島にかけて広い範囲で少雨だった。

④東南アジアの多雨

フィリピンでは中旬から下旬にかけて3つの台風が

通過して多雨となり、洪水や地滑りによりおよそ300人の死者がでたと報じられた。インドやインドネシアでもサイクロンや雨期の大雨による被害が伝えられた。

⑤ヨーロッパの多雨

地中海沿岸部をのぞいて多雨で、ルクセンブルグで月降水量が 232 mm (平年の2.3倍) などとなった。特に下旬になって、ドイツなどヨーロッパ中部の各地で洪水が発生し、ライン川は記録的な高水位となった。また、フランス南部のアルプス地方では大雪による雪崩の被害がでた。気温は、強い寒波に見舞われた11月から一転して、ヨーロッパ全体に高温傾向となった。

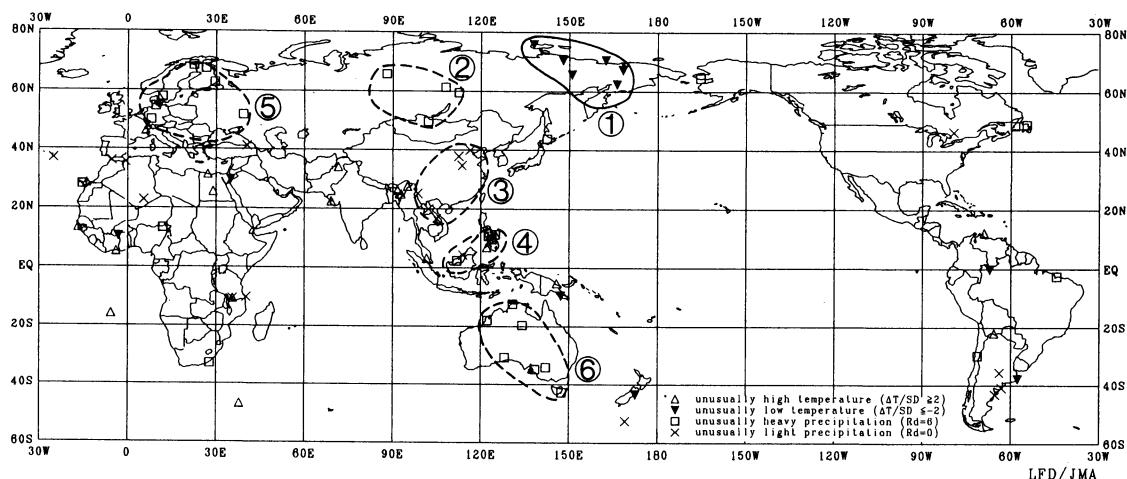
⑥オーストラリアの多雨

オーストラリアでは平年では下旬頃にモンスーンに入る北部を中心に多雨となったが、東部と西部では少雨傾向だった。

⑦その他

北アメリカは、下旬に強い寒気が入り大雪や低温の被害がでた。アメリカ合衆国東部やカナダ北東部をのぞき高温傾向で、アラスカでは平年を 6~8°C 上回った。

(長期予報課 三浦芳敬)



1993年12月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▽：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1993年12月の気候表の説明。平均値は、1951~1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500 hPa 高度場の平均値は1961~1990年の30年平均値。